

即時公告

R&A と USGA は用具研究トピックと用具基準変更案を公表

- 研究トピックには、継続する飛距離の増加を緩和するためのローカルルールの可能性とクラブとボールの仕様の見直しが含まれています。
- 飛距離制限に関連する実効性を確保するために、クラブの長さ、ゴルフボールのテスト条件、クラブのスプリング効果の許容誤差について現行の用具基準の変更案。

R&A と USGA は、ゴルフにとってより持続可能な長期的未来を達成する支援となることを目標として、ディスタンスインサイトプロジェクトについてゴルフ産業と再び向き合いました。

2021年2月2日、セントアンドリュース・スコットランド、リバティコーナー・N.J.・USA: 統轄団体は継続する飛距離の増加を緩和する支援となる具体的な「関心のある分野」と飛距離制限に関連する用具規則の実効性を確保するための用具規則の3つの変更案を公表しています。

飛距離とゴルフの持続可能性に関連する研究トピックの配信は、ゴルフ産業が COVID-19 の世界的な感染拡大の影響に注視できるようにするため、2020 年から先送りされました。

昨日、ゴルフ用具製造業者に送付された「関心のある分野」の告知は昨年2月に配信されたディスタンスインサイトレポートの結論文書に従ったものです。それは確立されている用具規則制定過程の第一段階であり、用具規則の変更に至るかもしれないトピックについてゴルフの利害関係者が研究や見解を提供する機会を与えます。

さらに、用具基準に関連する3つの提案も製造業者に昨日送付され、公表されました。2つは用具テストプロトコルの近代化について、もう1つは選択した場合にパターを除くクラブの最大長を48インチから46インチに制限するという柔軟性を委員会に与えるローカルルールひな型(MLR)の採用を検討することです。ゴルフ産業の利害関係者からこの3つの提案それぞれへのフィードバックを求める「告知とコメント」の期間は即時開始となりました。

研究トピック/関心のある分野

[こちらからダウンロード](#) (調査期限:2021年11月2日まで)

「関心のある分野」の告知では2つの具体的な関心のある分野に取り組んでいます:

- 飛距離を減じることを意図したクラブおよび/またはボールの使用を特定することになるローカルルールの使用の可能性。このことは競技会を開催する委員会がそのような用具を使用すべきかどうか規定することを可能とします。このローカルルールはすべてのレベルのプレーで利用でき、競技以外でプレーするゴルファーが自分自身で選択することも認めることになります。
- 飛距離に直接的/間接的の両方で影響する仕様を含め、クラブとボールの両方について、全体的な適合性の仕様の見直し。この見直しでは、継続する飛距離の増加を緩和する支援となるために既存の仕様を修正すべきかどうか、あるいは新しい仕様を設けるべきかどうかを検討することになります。ゴルフのすべてのレベルで飛距離を大幅に減じるような全体的な修正を検討することはありません。検討されるクラブとボールの仕様のリストは[正式な告知文書](#)で閲覧できます。

利害関係者は、こうしたトピックについて有しているかもしれないデータや見解を2021年11月2日までに共有することでこの過程に参加することが勧められます。

このトピックは単なる研究分野です。現時点ではいかなる解決策や決定も提案されていません。この研究から生じるかもしれない規則変更のすべての提案は用具規則制定過程に従って連絡されることとなります。

用具基準変更案

[こちらからダウンロード](#)

R&A と USGA は飛距離制限に関連する現行の用具テスト過程、プロトコル、基準の実効性について取り組んでいます。その結果、統轄団体は下記の 3 つの用具基準変更案について用具製造業者からのコメントを求めています：

提案#1: クラブの長さローカルルールひな型 (MLR) として 46 インチに減じることを可能とする (当初の提案は 2016 年に配信され、ディスタンスインサイトプロジェクトにより 2017 年に中断された)。コメント期間は 2021 年 3 月 4 日に終了する。

提案#2: ゴルフボールのテスト方法を更新する。コメント期間は 2021 年 8 月 2 日に終了する。

提案#3: テスト許容誤差を変更する - 特性時間 (CT)。コメント期間は 2021 年 8 月 2 日に終了する。

年次ドライビングディスタンスレポート (2020 年)

R&A と USGA は年次ドライビングディスタンスレポート (2020 年) も本日リリースしました。完全なレポートはこちらから閲覧できます：[こちら \(英文のみ\)](#)

R&A と USGA からのコメント

マーティン・スランバース氏 (R&A チーフ・エグゼクティブ) は、「私たちは今、この重要なトピックについての作業を推進することができ、可能な限り迅速に次の段階に着手しています。私たちが公表したこの研究トピックと変更案はこれから数ヶ月間の私たちの関心事項であり、ゴルフ産業からの洞察を得ることやこうした主要な分野についての彼らの見解を十分に理解することを楽しみにしています。私たちはゴルフにとってとても重要なこの手続きを全面的に、効果的に、協力して履行することに全力で専念し続けます。」と述べています。

マイク・デービス氏 (USGA チーフ・エグゼクティブ・オフィサー) は、「ディスタンスインサイトを通じて行われた研究では、飛距離は時と共に一貫して増加してきたことを明らかに示しており、歯止めを利かせなければ私たちのゴルフのすべてのレベルにおける長期的な将来やプレーが行われるすべてのゴルフコースを脅かす可能性があります。このことはゴルフが今後 100 年経った後にも繁栄を続けることを確保するために R&A と USGA が旅路に踏み出す最初の一步であり、世界的なゴルフコミュニティと共有する責任なのです。」と述べています。

2020 年 2 月からの更新

COVID-19 感染拡大によって距離に関連する研究が中断している間、R&A と USGA は用具テスト過程、プロトコル、基準について、それらの距離制限に関連した実効性を確保するための定期的な見直しを遂行しました。上記に詳述されている提案はその実効性を確保するための用具テスト過程、プロトコル、基準の定期的な見直しの結果です。

そうしたことから、こうした提案はディスタンスインサイトレポートで特定された距離の問題への解決策と考えられたことはなく、また解決策となることを意図したものではありませんでした。

ゴルフ用具に関連するすべての告知は、R&A、USGA、そしてゴルフ用具製造業者によって 2011 年に採用された用具規則制定手続き(すべての関係者のための開かれた意見交換プロセス)に従っています。用具規則制定手続きは[こちら](#)から。

昨年リリースされたディスタンスインサイトレポートでは、長期的な飛距離の増加がゴルフの戦略的な挑戦を変えてしまうこと、成功に必要な様々な技量を変えてしまうこと、そしてコースが挑戦的でなくなったり、陳腐化してしまうリスクを含むゴルフのいくつかの本質的要素に与える影響を強調していました。さらに、このレポートではゴルフコースがより長くなっているという全体的な傾向には、最終的にこのゲームのすべてのレベルのゴルファーに及ぶ悪影響があると述べています。統轄団体はゴルフをまとめ、今後長年にわたってゴルフが繁栄していくことを確保する方法で対処するためにゴルフの主要な利害関係者と連携しています。

昨年配信されたディスタンスインサイトの結論文書の中で「次の段階」として詳述されているように、距離に関連するコースデザイン、セットアップ、コースコンディションについて、産業全体での推奨事項やすべてのゴルフコースとゴルファーにとって最善の管理業務を開発するための作業も現在行われています。USGA は現在フィールドテストと研究を行っており、結果は 2021 年を通じて配信されることとなります。

さらなる情報は www.RandA.org と www.usga.org にアクセスしてください。

以上

The R&A について

この文書における The R&A への参照は R&A ルールズリミテッドについて言及しています。スコットランド、セントアンドリュースに本拠地を構える The R&A と USGA は、それぞれ別の管轄下で運営しながらも、ひとつのゴルフ規則、アマチュア資格規則、そして用具基準を施行することで、共同してゴルフというスポーツを世界的に統轄しています。The R&A はアメリカ合衆国とメキシコを除く全世界でこのスポーツを管轄しており、159 のアマチュアやプロフェッショナルの団体の同意を得て、144 ヶ国で 3,600 万人を超えるゴルファーのために活動しています。

The R&A はこれから先 10 年間でゴルフの発展のために 2 億ポンドの投資を行うことを目指しており、持続可能なゴルフ施設の開発と管理を含め、このスポーツが国際的に成長する支援を行います。さらなる情報は www.randa.org にアクセスしてください。

USGA について

USGA はゴルフというゲームを称賛し、仕え、促進する非営利団体です。1894 年に創設され、私たちは US オープンや US 女子オープンを含め、ゴルフにおける最高峰のプロフェッショナルやアマチュアの多くの選手権を実施しています。The R&A と共に、私たちはプレー、用具、ハンディキャップ、そしてアマチュア資格のグローバルなセットを通じてこのスポーツを統括しています。ニュージャージー、リバティーコーナーにある USGA キャンパスは、科学とイノベーションが将来に向けた健全で持続可能なゲームを支持するこの協会の研究テストセンターの所在地です。このキャンパスは世界的に最も包括的なゴルフの遺物のアーカイブを収集することでこのゲームを称賛している USGA ゴルフミュージアムの拠点でもあります。さらなる情報は usga.org にアクセスしてください。

メディア連絡先:

Mike Woodcock, Director of Corporate Communications, The R&A

mikewoodcock@randa.org +44(0)7584 071246

Janeen Driscoll, USGA Director, Brand Communications

jdriscoll@usga.org 910-690-9711